

令和 4 年舞鶴市議会 6 月定例会

一般質問資料

[川口 孝文 議員]

iPad 利用の心構え

積極的に使おう

どんどん使おう



スライド作成、動画作成
など、どんどん使おう！

有効活用しよう



気になった事は調べてい
きましょう。情報の集め方
がカギです！

ルールを守ろう

学習のために使う



学校は学習をする場所。
ゲームや動画鑑賞などの
学習以外の利用は禁止です。

授業中は指示に従う



授業中は教科の先生の
指示に従う。
話をちゃんと聞きまし
ょう。

情報モラルを身につけよう

著作権・肖像権に注意



他人を勝手に撮影する行
為や著作物をコピーする
ことは違法です。

個人情報の扱いに注意



インターネット上に
個人情報をあげては
いけません。

公立学校図書館の蔵書整備状況 (令和元年度末現在)

		学校数	* 学校図書館図書標準達成学校数
全国	小学校	18,849校	71.2%
	中学校	9,120校	61.1%
京都	小学校	351校	70.4%
	中学校	161校	41.0%

* 学校図書館図書標準：学校図書館に整備すべき蔵書冊数の標準学級数に応じて定めたもの。

令和2年度「学校図書館の現状に関する調査」結果について：文部科学省総合教育政策局学習推進課
3.7.29発表 4.1.24修正 より抜粋

公立学校 司書教諭発令・学校司書の配置備状況 (令和2年5月1日現在)

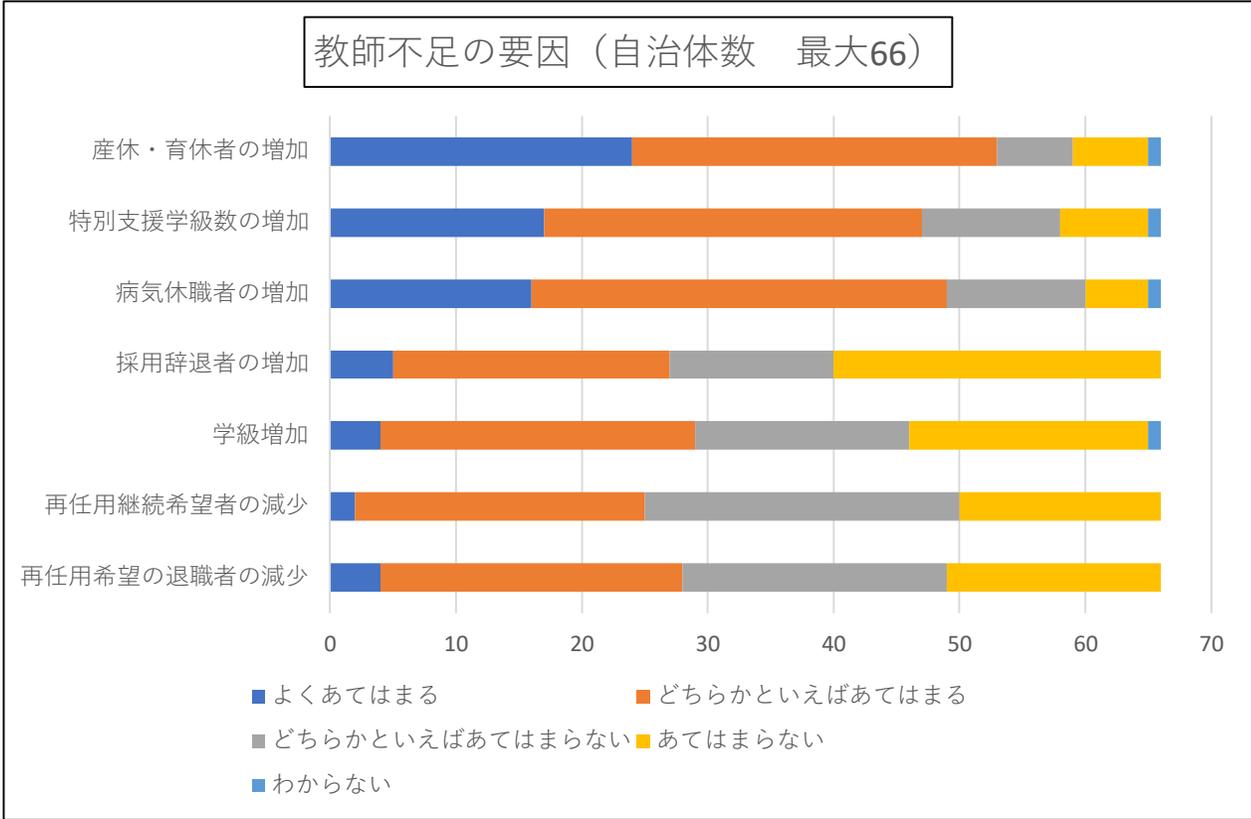
		司書教諭発令割合		学校司書配置割合
		12学級 以上の学校	11学級 以下の学校	
全国	小学校	99.4%	30.7%	69.1%
	中学校	98.9%	31.0%	65.9%
京都	小学校	100%	62.4%	77.8%
	中学校	100%	54.9%	77.6%

*** 学校には司書教諭のほか、学校図書館の運営の改善及び向上を図り・・・専ら学校図書館の職務に従事する職員（学校司書）を置くよう努めなければならない。**

令和2年度「学校図書館の現状に関する調査」結果について：文部科学省総合教育政策局学習推進課
3.7.29発表 4.1.24修正 より抜粋

教員不足の要因など

令和3年始業日時点の全国公立小中学校教員不足数：1,586校 2,086人の教員不足



令和3年度 文部科学省調査結果から「日本教育新聞（4.2.7）」データを編集

第2次学校安全推進計画の概要（抜粋）

1. 今後の学校安全の推進の方向性として、目指すべき姿や施策目標に基づき、**具体的な取組を推進**する。
2. 全ての学校において**学校安全計画及び危機管理マニュアルの策定・改善**を行う。また、管理職のリーダーシップの下、学校安全の中核となる教職員を中心とした**組織的な学校安全体制を構築**する。
3. 教員の養成・研修の充実による教員の資質向上、学習指導要領の改訂を踏まえたカリキュラム・マネジメントの確立による、**系統的・体系的な安全教育を推進**する。
4. 外部の専門家や関係機関と連携した**安全点検の徹底**や、事故等の未然防止や発生後の調査・検証、再発防止のための取組の改善・充実を一連のサイクルとして実施し、**学校安全に関するPDCAサイクルを確立**する。
5. 第1次計画策定後の新たな安全上の課題（SNS、爆破予告、テロ対策等）への対応や、家庭、地域、関係機関等との**連携による安全対策を推進**する。

第3次学校安全推進計画の概要（抜粋）

【基本的な方向性】

1. 学校安全計画・危機管理マニュアルを見直すサイクルを確立。学校安全の実効性を高める。
2. 地域の多様な主体と密接に連携・協働し、子供の視点を加えた安全対策を推進する。
3. 全ての学校における実践的・実効的な安全教育を推進する。
4. 地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育・訓練を実施する。
5. 事故情報や学校の取組状況などデータを活用し学校安全を「見える化」する。
6. 学校安全に関する意識の向上を図る。

【目指す姿】

全ての児童生徒たちが自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう、安全に関する資質・能力を身に付けること。